

# 一般財団法人 共立国際交流奨学財団

## 平成 25 年度事業報告書

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

### I. 財団の管理・運営

#### 寄付金の受入

株式会社共立メンテナンスからの寄附金（使途不特定、但し一部は株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金 35 名分）及び個人 4 名からの寄附金（現地支給奨学金）を受け入れました。

#### 会議の開催

##### 第 11 回理事会 (平成 25 年 6 月 6 日)

平成 24 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。理事の職務権限規程の制定が承認されました。第 10 回評議員会の招集が承認されました。

##### 第 10 回評議員会 (平成 25 年 6 月 21 日)

平成 24 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。監事 1 名の再任が承認されました。

##### 第 12 回理事会 (平成 26 年 3 月 4 日)

平成 26 年度事業計画、収支予算及び平成 26 年度奨学生 58 名が承認されました。海外 5 ヶ国（ベトナム・ミャンマー・カンボジア・インドネシア・タイ）での業務委託契約締結が承認されました。第 11 回評議員会の招集が承認されました。

##### 第 11 回評議員会 (平成 26 年 3 月 17 日)

平成 26 年度事業計画及び収支予算が承認されました。

#### 内部統制の整備

(「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第 90 条第 4 項第 5 号及び同法施行規則第 14 条に規定する体制の整備)

理事の職務の執行が効率的に行われることを確保する体制を整備するため、平成 25 年 6 月 6 日開催の第 11 回理事会において理事の職務権限規程の制定を決議し、適正な意思決定に基づく円滑な業務執行を図ることとしました。

## Ⅱ．奨学金支給事業（継続事業１）

### 留学生奨学金の支給

一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金（月額 10 万円・期間 2 年間）を、平成 24 年度生 14 名（4 月より 1 名辞退の為）及び平成 25 年度生 15 名、合計 29 名に平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月まで支給しました。

（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金（月額 6 万円・期間 1 年間）を、平成 25 年度生 23 名（11 月より 1 名、12 月より 1 名辞退の為）に平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月まで支給しました。

現地奨学金を、ベトナム 2 名、ラオス 1 名、ミャンマー 2 名 計 5 名に支給しました。

### 選考委員会の開催

中国福祉人材育成基金奨学金本選考会 （平成 25 年 12 月 2 日）

平成 25 年 10 月 20 日・25 日実施の予備選考会において選考された 5 名について、審査の結果、3 名を月額 10 万円・1 年間支給、2 名を月額 5 万円・1 年間支給の平成 26 年度奨学生候補者として選考しました。（うち 1 名は辞退）

第 21 回選考委員会 （平成 26 年 2 月 25 日）

奨学金対象校から推薦のあった平成 26 年度応募者 331 名及び現地（カンボジア・ミャンマー・ベトナム）選考会において選考された 8 名について、審査の結果、一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金 18 名（平成 25 年度の追加 3 名含む）、（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金 35 名の合計 53 名を平成 26 年度奨学生候補者として選考しました。

### 現地奨学生選考会の開催

奨学候補生現地（カンボジア）選考会 （平成 25 年 8 月 25 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 10 名に対し、当財団 菊川選考委員、江副選考委員が日本語による面接を行い、3 名が平成 26 年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金給付候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（ミャンマー）選考会 （平成 25 年 10 月 5 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 7 名に対し、当財団 菊川選考委員、越前谷選考委員が日本語による面接を行い、3 名が平成 26 年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金給付候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（ベトナム）選考会 （平成 25 年 10 月 27 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 12 名に対し、当財団 北原選考委員、石塚選考委員が日本語による面接を行い、3 名が平成 26 年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金給付候補生に選ばれました。（うち 1 名は辞

退)

### Ⅲ. 国内・外の留学生に対する生活・学習情報提供事業（継続事業 2）

財団紹介のパンフレット『一般財団法人共立国際交流奨学財団（紹介・情報案内）Vol.19』、情報誌『アジア文流 Vol.33』『アジア文流 Vol.34』、留学生のための日本生活案内『留学生生活手帳（第3版）』を出版し、関係機関、他財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに配布しました。

### Ⅳ. 国際交流活動への支援（継続事業 3）

#### イベントの開催

##### 第1回「日本語体験コンテスト in プノンペン」

当財団主催、在カンボジア日本国大使館・在日カンボジア王国大使館・全日本空輸株式会社バンコク支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 25 年 8 月 25 日、カンボジア王国プノンペン市インターコンチネンタルホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地のメコン大学・カンボジア日本語センターで学んでいる学生等を対象に実施し、55 名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、15 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 5 泊 7 日（平成 26 年 1 月 19 日～25 日）に参加し、日本の学校見学、研修観光等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

##### 第1回「日本語体験コンテスト in バンコク」

当財団主催、在タイ日本国大使館・全日本空輸株式会社バンコク支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 25 年 8 月 28 日、タイ王国バンコク市パトゥムワンプリンスホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、50 名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、21 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 6 名が選ばれました。

入賞者 6 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 5 泊 7 日（平成 26 年 1 月 19 日～25 日）に参加し、日本の学校見学、研修観光等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

### 第 16 回「日本体験コンテスト in 大韓民国」

当財団（東京本部・ソウル事務所）主催、文部科学省・在大韓民国日本国大使館公報文化院・日本政府観光局ソウル事務所・東亞日報・全日本空輸株式会社ソウル支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 25 年 9 月 14 日、大韓民国ソウル特別市ロッテホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、大学院・大学校・大学生を対象として、東北 6 県（青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島）で「実現したい夢」「体験したい事」をテーマに企画を募集しました。応募者 16 名の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい、審査委員による採点審査の結果入賞者 6 名が選ばれ、「夢・日本体験賞」として賞金 30 万円が授与されました。

入賞者 6 名は、平成 26 年 3 月 15 日までにそれぞれの日本体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

### 第 11 回「日本語体験コンテスト in 上海」

当財団（東京本部・上海委託事務所）主催、文部科学省・在上海日本国総領事館・全日本空輸株式会社上海・杭州支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 25 年 9 月 21 日、中華人民共和国上海市甘泉外国語中学校を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本の高等教育機関に留学を希望する学生や、日本語を学んでいる中国の高校生・大学生を対象に実施し、高校生 57 名・大学生 54 名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、26 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 8 名が選ばれました。

入賞者 8 名は「共立賞」として賞品旅行 5 泊 6 日（平成 26 年 1 月 20 日～25 日）に参加し、日本の学校見学、研修観光等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

### 第 3 回「日本語体験コンテスト in ヤンゴン」

当財団主催、文部科学省・在ミャンマー日本国大使館・駐日ミャンマー連邦共和国大使館・全日本空輸株式会社ヤンゴン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを、平成 25 年 10 月 5 日ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市セドナホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の MOMIJI 日本語センター・WIN 日本語学校等で学んでいる学生を対象に実施し、50 名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、19 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 5 泊 7 日（平成 26 年 1 月

19 日～25 日)に参加し、日本の学校見学、研修観光等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

#### 第 6 回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」

当財団主催、文部科学省・在ホーチミン日本国総領事館・駐日ベトナム社会主義共和国大使館・全日本空輸株式会社ホーチミン支店後援、株式会社共立メンテナンス・株式会社ローソン協賛の標記コンテストを、平成 25 年 10 月 27 日ベトナム社会主義共和国ホーチミン市 165 NAM KY KHOI NGHIA GUEST HOUSE を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地のベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学・ドンズー日本語学校・さくら日本語学校・サイゴンランゲージスクールで学んでいる学生等を対象に実施し、66 名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、25 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 5 泊 7 日（平成 26 年 1 月 19 日～25 日）に参加し、日本の学校見学、研修観光等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

#### 第 14 回「日本人学生の『アジア体験』コンテスト

当財団主催、文部科学省・外務省・産経新聞社後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを、平成 25 年 11 月 16 日共立財団日本語学院を会場として開催しました。

標記コンテストは、大学院・大学・短大・専門学校生を対象として、企画内容を①日本語教育体験あるいは日本語教育の現状調査②進出する日本企業等の調査③医療・サービス等の調査研究の 3 つに絞り、対象国をインドネシア・カンボジア・ミャンマーの 3 ヶ国とし、企画を募集しました。

応募者 28 名の中から、書類選考で選ばれた 17 名の企画優秀者の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい審査委員による採点審査の結果入賞者 5 名が選ばれ、「夢・アジア体験賞」として賞金 30 万円が授与されました。

入賞者 5 名は、平成 26 年 3 月 15 日までに、それぞれのアジア体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

### 助成金の支給

#### 日本人学生の「国際ボランティア支援基金」

日本人学生（高校生・専門学校生・短期大学生・大学生）を対象に、アジアに関する「国際ボランティア」の企画を募集し採用された企画に助成金の支給（一口 15 万円・今年度採用者 2 名）を行いました。

採用者は、平成 26 年 3 月 31 日までに企画を実施し、その報告書を提出しま

した。

## 研修会の開催

奨学生及び一般学生（留学生・日本人学生）も参加し、相互理解と国際親善交流を促進するための研修会を実施し、訪問地におけるホームステイ、史跡・歴史的建造物見学、ディスカッション等を通して、日本の文化・歴史・自然についても理解を深めました。

### <各研修会報告>

#### 第75回 奨学生研修会

開催地：広島県 広島市

開催期間：平成25年5月31日～平成25年6月2日 2泊3日

参加者：一般財団法人共立国際交流奨学財団 平成24・25年度奨学生29名

内容：宮島・厳島神社・原爆ドーム・広島平和記念館等見学

#### 第76回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、美幌町国際交流推進委員会

開催地：北海道 美幌町

開催期間：平成25年8月21日～26日 5泊6日

参加者：留学生6名

内容：ホームステイ、学校交流、レスキュー体験、華道・ゴルフ体験

#### 第77回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、一般財団法人北海道国際交流センター

開催地：北海道 函館地域

開催期間：平成25年8月21日～27日 6泊7日

参加者：留学生18名

内容：ホームステイ、函館観光、ファーム体験

#### 第78回 研修会

開催地：沖縄県 東村

開催期間：平成25年9月2日～7日 5泊6日

参加者：留学生・日本人学生44名

内容：ホームステイ、農業体験、沖縄観光、マングローブカヌー体験

#### 第79回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、標津町観光協会

開催地：北海道 標津町

開催期間：平成25年9月5日～10日 5泊6日

参加者：留学生・日本人学生13名

内 容：ホームステイ、ジャングルカヌー体験、郷土料理づくり、  
サーモン科学館見学

#### 第80回 研修会

共 催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、標津町観光協会  
開 催 地：北海道 標津町  
開催期間：平成26年2月12日～17日 5泊6日  
参 加 者：留学生・日本人学生17名  
内 容：ホームステイ、冬祭り、スキー体験、サーモン科学館見学

#### 第81回 研修会

開 催 地：沖縄県 伊江島  
開催期間：平成26年2月24日～3月1日 5泊6日  
参 加 者：留学生・日本人学生39名  
内 容：ホームステイ、海岸清掃、沖縄観光

### V. 日本語教育施設の設置及び運営

日本語教育施設として共立財団日語学院の管理及び運営を行いました。平成25年6月15日より当財団所有物件「共立財団湯島ビル」3・4階に校舎を移転しました。

### VI. 留学生寮の設置及び運営

留学生の生活支援を行うため、つつじヶ丘男子学生会館・相模大野学生会館の国際交流会館2棟の管理及び運営を、また全国6地域（札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・福岡）で「学習奨励寮」の運営を行いました。

また、賃貸用不動産「共立財団湯島ビル」の管理及び運営を行いました。